

## 平成31年第1回議会報告会における要望事項等に対する市長及び教育長からの回答

	意見・要望の概要	報告会場 【対象振興会】	担当課	回答
1	<p>酒田駅前のコミュニケーションポートの駐車場について、駐車可能台数や利用料などどうなるのか。 現在酒田駅前に駐車場がないため、JR利用時など、コミュニケーションポートの駐車場の一般利用での活用をしてほしい。</p>		都市デザイン課	<p>今回の再開発で整備する立体駐車場は、一般用205台、マンション用57台となっています。一般利用の駐車料金は、次のとおりです。 ①午前8時から午後10時まで 最初の2時間までは無料、2時間を超える分は30分ごとに110円を加算した額 ②午前零時から午前8時まで及び午後10時から午後12時まで 30分ごとに110円を加算した額 ③上記の算定により合計額が1,000円を超える場合 入場から24時間までは1,000円とし、24時間を超える場合は1,000円に超過時間30分ごとに110円を加算した額 本駐車場については、終日無料開放とはなりません、JR利用者も駐車可能ですので是非ご利用ください。</p>
2	<p>配布資料の中の酒田市コミュニケーションポート（仮称）整備事業について、管理運営についての中の「施設一括での指定管理者制度を導入します」の説明として、④市の限られた資源（定員、財政）を考慮とあるが、もう少し市民にわかりやすく説明してほしい。</p>	観音寺コミュニティセンター 【上田、本楯、南遊佐、観音寺、一條、大沢、日向】	都市デザイン課 図書館	<p>本市は、人口減少・少子高齢社会の急激な進行により、税収の減少や社会保障費の増加はもちろん、普通交付税の段階的縮減（※）もあいまって、今後も厳しい財政状況が続くものと見込まれます。 そのため、引き続き行財政改革に取り組み、限られた人員と予算を有効に活用して、最少の経費で最大の効果を上げていく必要があります。 本市では、行財政改革推進計画、公共施設等総合管理計画、職員数適正化方針、人材育成基本方針及び中期財政計画等への取り組みを通して、健全な行財政運営を推進しながら、各施策を進めていくこととしております。</p> <p>（※）普通交付税の段階的縮減 国は、どの市町村に住んでも同じような行政サービスを受けられるよう国税の一部を普通交付税として地方に配分している。合併した自治体は、合併後10年間は有利な算定によって交付を受けるが、合併11年目以降は5年かけて段階的に本来の算定額に縮減される。</p>
3	<p>行政監査の結果、市職員の防災意識が低いという新聞報道があったが、昨年8月5日の避難所運営では、避難所への職員の到着が遅い、コミセンの担当職員の顔を住民（自治会長・副会長クラス）が知らないなど不手際が多かった。また、名簿があっても実際にはほとんど機能しない状況もあり、訓練の必要性を強く感じる。 職員教育をはじめ、社会福祉協議会なども参加しての訓練や、日ごろからの住民とのコミュニケーションをしっかりとるなどの地域との連携を進め、意識改革をするよう市に要望する。</p>		危機管理課	<p>これまで職員の招集には、数人が手分けし電話かけを行っていましたが、昨年の8月豪雨の経験を踏まえ、職員招集システムの導入により招集に係る時間が短縮でき、迅速な参集ができるよう改善しました。 また、避難所連絡員が一目で判別できるよう、今年度は連絡員となる職員にはあらかじめビブスを配布しています。避難所連絡員については、システムを使った参集訓練や地域の防災訓練への参加などで、地域と職員との連携推進と災害対応への意識付けをしっかりと行っていきたいと考えています。</p>
4	<p>八幡学童保育所については地域の運営委員会で運営しているが、ノウハウや人材の不足などの面で大変である。 新1年生の半分以上が学童に行っている状況の中、市として統一的な運営方法にしていくことはできないか。</p>		子育て支援課	<p>本市の学童保育所の運営は、学童保育所の設立経緯などにより、NPO法人、社会福祉法人、地域の運営委員会等、様々な団体により行われています。それぞれが特性をもって運営しているため、統一的な運営方法にすることは難しいと言えますが、学童保育所によって児童が受けるサービスの質に差が生じないよう、様々な研修や情報提供、各団体間の情報交換などにより、今後とも市として積極的に運営支援に取り組んで参ります。</p>

	意見・要望の概要	報告会場 【対象振興会】	担当課	回答
5	去年8月豪雨の際、緊急メール（避難指示）がきたのに、民間会社の対応はばらばらであった。民間も含めた統一した動きはできないものか。	松原コミュニティ防災センター 【松原、亀ヶ崎、港南】	危機管理課	避難指示は、災害の危険から身の安全を守っていただくために発令していますが、民間企業においては、経済活動を中断することになるため、その判断が難しいものと推察されます。一方で、ひとたび越水や破堤が発生すれば、命の危険を伴う被害になりかねません。 勧告や指示には法的強制力がいないため、避難の可否は個々の判断に委ねられますが、民間企業への意識啓発については、商工会議所などの関係機関と連携し、効果的な方法を協議しながら慎重に取り組んでまいりたいと考えています。
6	現在酒田駅前に駐車場がないため、JR利用時など、コミュニケーションポートの駐車場の一般利用での活用をしてほしい。【再掲】		都市デザイン課	No.1に同じ
7	平田総合支所に消防本部が入ってもらいたいと思っていたが、今後、旧市内に移転する予定のため2階と3階が空くことになる。 そこで、例えば平田に縁のある芸術家の石黒光二氏や山谷新田の佐藤氏の作品や、新田嘉一氏のコレクションなどを展示するなど、市民が利用できる文化施設のような整備を考えてほしい。	ひらた生涯学習センター 【田沢、東陽、郡鏡・山谷、南平田、砂越・砂越緑町】	平田総合支所 地域振興課	平田総合支所庁舎の利活用については、ご提案の件を含め今後関係部署と協議・検討してまいります。
			社会教育文化課	美術品を常時展示するには、24時間稼働の空調等の環境整備も必要となり、維持管理にも多額の経費が必要となりますので、今のところ、新たな展示施設の整備は予定しておりません。
8	玉簾の滝の展望台へ行く道を整備していただきたい。		八幡総合支所 建設産業課	ご指摘の場所は、昔の炭焼きのための急こう配の山道の途中にあったもので、現在はその道もほとんど利用されておりません。私有地も介在しており整備には地元の合意が必要になるなど、現状では整備に着手するのは難しいと考えておりますので、何卒ご理解の程よろしくお願い致します。
9	公園の遊具にピンク色のテープで補修箇所マークがされているが、対応が遅いと感じる。 3%シーリングが市民に負担を与え、危険箇所への対応がさらに遅くなるのではないかと不安を感じる。	富士見学区コミュニティ防災センター 【泉学区、富士見学区】	土木課	本市には214箇所の公園や緑地があり、約860基の遊具が設置されています。 その全ての遊具において、市職員による3か月に1回の日常点検と専門業者による年1回の定期点検を行っており、損傷や劣化箇所があった場合はピンクテープを巻いて目印としております。また、危険箇所が確認された場合は、使用禁止措置をするなど、事故が起こらないような対応に努めているところです。 修繕は迅速な対応を心がけておりますが、遊具修繕は専門性があり、材料調達に時間がかかるなど、修繕完了まで時間を要する場合があります。 今後も可能な限り迅速な対応に努めてまいりますので、何卒ご理解の程よろしくお願い致します。
10	配布資料の中の酒田市コミュニケーションポート（仮称）整備事業について、管理運営についての中の「施設一括での指定管理者制度を導入します」の説明として、④市の限られた資源（定員、財政）を考慮とあるが、もう少し市民にわかりやすく説明してほしい。【再掲】		都市デザイン課 図書館	No.2に同じ